

第3章 計画の理念・目指す姿・目標

前章の住生活を取り巻く現状と課題から、上位計画である「第六次春日井市総合計画」における市の将来像「暮らしやすさと幸せをつなぐまち かすがい」の実現に向けて、本計画の基本理念、目指す姿、目標を次のとおり定めます。

理念	目指す姿	目標
未来へと 住みつがれるまち 安心の中に 暮らす幸せ	I 希望に沿った 快適な住まいで 自分らしく 住み続けている	目標① 住みつなげる良質な住まいの形成 
	II 安全・安心で 利便性の高い 環境のもと 人と人との支え合 うコミュニティが 形成されている	目標② 高経年化した住まいの適切な管理、除却・更新の促進 
		目標③ だれもが安心して住み続けられる 住まいの確保と生活支援の連携を実現 
		目標④ 頻発・激甚化する自然災害に対する充実した備えの強化 
		目標⑤ 自分らしい住まい方・暮らし方ができるネットワークの形成 
		目標⑥ ライフタウンとして安心、便利で暮らしやすい住環境の実現 

1 計画の理念について

未来へと 住みつながれるまち 春日井市 安心の中に 暮らす幸せ



未来へと 住みつながれるまち

市民の健康や地球環境にやさしい
良質な住まいを形成し、
次世代に住みつながれるまちを目指します。

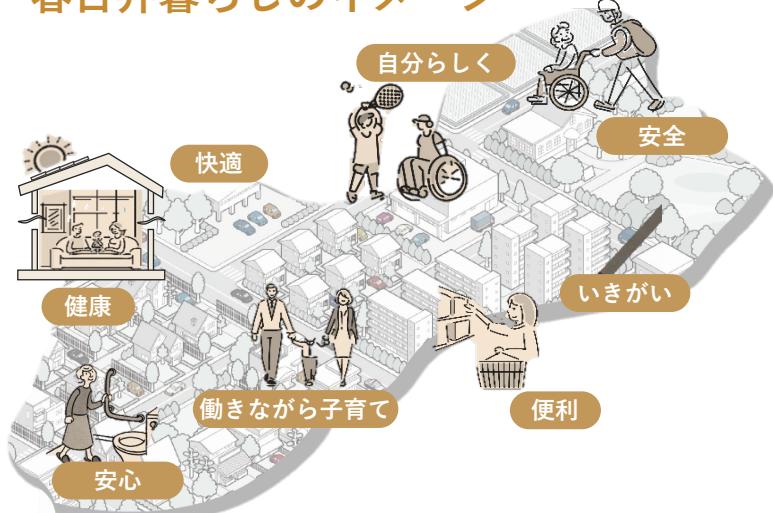
安心の中に 暮らす幸せ

日常の暮らしが安心につつまれながら、
人生の困難な状況に直面しても揺らがず
暮らしつづけられることを目指します。

2 目指す姿について

前項で掲げた理念をもとに、「住まいと暮らし」の視点と、「住環境」の視点から目指す姿を定めます。

春日井暮らしのイメージ



目指す姿Ⅰ

希望に沿った快適な住まいで 自分らしく住み続けている

本市で暮らすすべての人が、自身のライフスタイルやライフステージに応じて、希望に沿った良質な住まいを選択し、快適に暮らせることを目指します。

また、住宅確保要配慮者が自分に合った住まいを確保し、安心して住み続けられることを目指します。

目指す姿Ⅱ

安全・安心で利便性の高い環境のもと 人と人が支え合うコミュニティが形成されている

頻発・激甚化する自然災害に対する備えを充実させ、自らの身の安全は自ら守るために地域防災力の向上とともに、日々の暮らしが便利で暮らしやすい住環境を目指します。

さらに、こうした住環境の中で、自分らしく地域とつながりながら暮らせることを目指します。

3 目標について

2つの目指す姿を実現するための6つの目標を定めます。

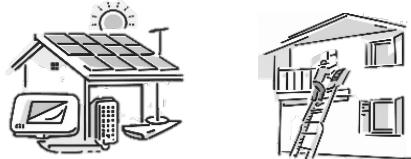
目指す姿Ⅰ

希望に沿った快適な住まいで自分らしく住み続けている

目標①

住みつなげる良質な住まいの形成

住み心地のよい安全・快適な住まいを新築・中古両面から供給を促進し、良質な住まいを増やします。



目標②

高経年化した住まいの適切な管理、除却・更新の促進

使える空き家を手頃な住まいとして流通につなげるとともに、空き家・マンションの適正管理を後押しし、管理不全化を予防します。また、使えない空き家は、除却・更新を促進します。



目標③

だれもが安心して住み続けられる住まいの確保と生活支援の連携を実現

市営住宅を含む公的賃貸住宅や民間賃貸住宅等で、入居を拒まれず円滑に入居できる住まいを確保するとともに、住み慣れた地域で望む住まいに住み続けられる環境をつくります。



目指す姿Ⅱ

安全・安心で利便性の高い環境のもと人と人が支え合うコミュニティが形成されている

目標④

頻発・激甚化する自然災害に対する充実した備えの強化

地震や水害、猛暑等の危機に対して、平時から防災への意識を高め、備えるための情報の発信や支えあう体制を整備します。また、避難路の安全性の確保や早期の復旧に向けた体制を整備します。



目標⑤

自分らしい住まい方・暮らし方ができるネットワークの形成

自分に合った地域や人との関わり方が選択できる多様なネットワークを創出します。



目標⑥

ライフタウンとして安心、便利で暮らしやすい住環境の実現

選ばれるまちとして重要な条件である“生活利便性”が高いまちで、安心して暮らせる住環境を形成します。

